



学力UP便い



令和6年1月12日(金)

第6号

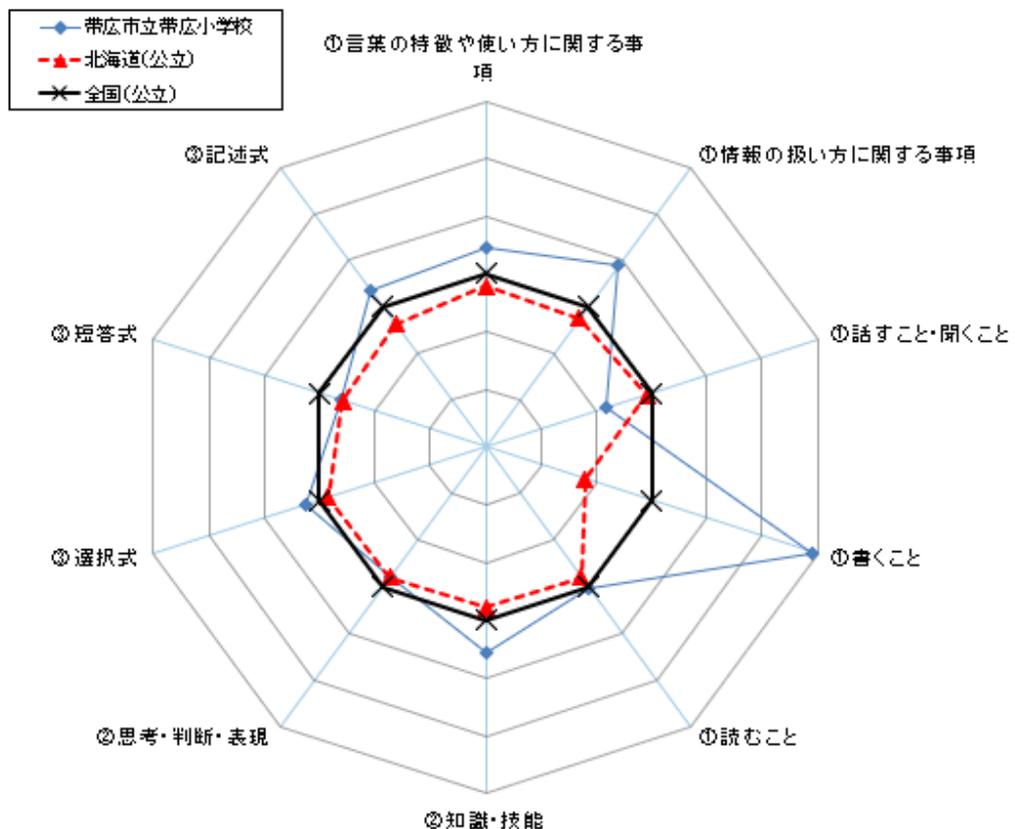
発行：教務部

全国学力・学習状況調査の結果から



4月18日に全国学力・学習状況調査を実施しました。義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てることを目的として行う学力調査です。このほど、全国平均などの結果の詳細が文部科学省から公表されました。このお便りでは、本校児童の結果を受けて、学力や学習状況の一端について紹介させていただきます。子供たちが、今後も主体的に学習を進めていくためのヒントを学校とご家庭で共有できたらと考えております。

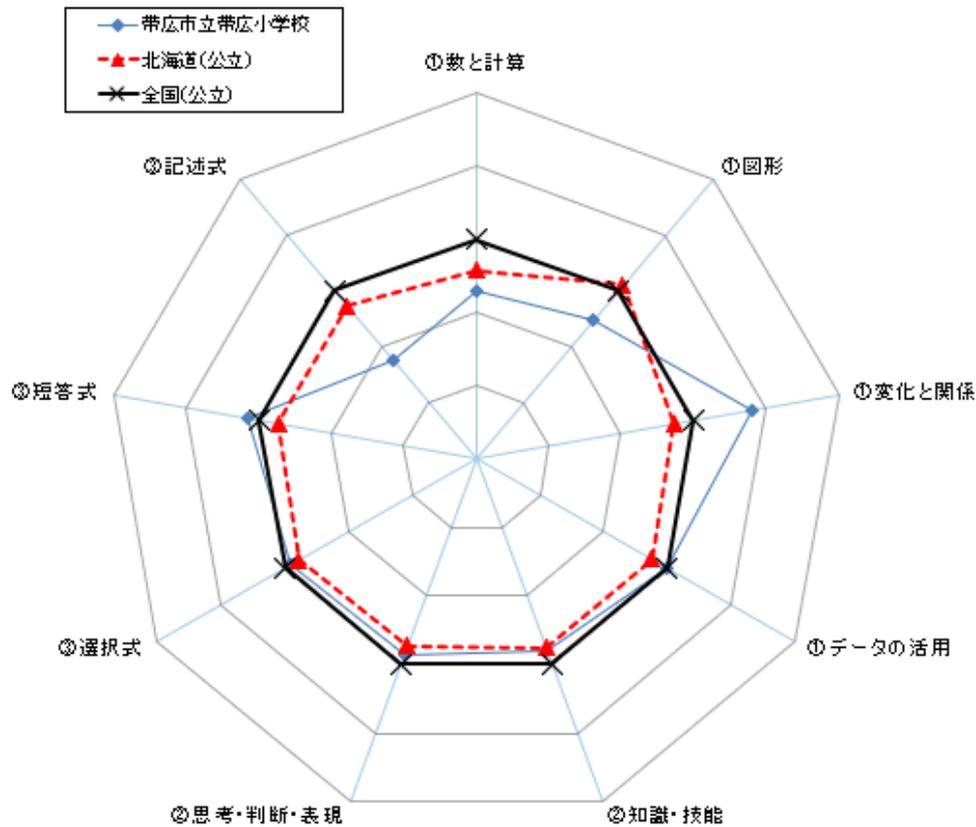
【国語】



国語は、全国の平均正答率を上回る結果となりました。特に「書くこと」の領域において、「**図表やグラフなどを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること**」を出題の趣旨とした設問において、全国の平均正答率を大きく上回り、成果といえます。解答用紙からは、文字数の条件を達成するための努力の跡が見られ、話し言葉と書き言葉の違いや、理由を述べる書き方についての基礎が身に付いている様子が見られました。

一方では、「**目的や意図に応じ、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめること**」や「**文章を読んで理解したことに基いて、自分の考えをまとめること**」に課題が見られました。今後も、自分の考えと相手の考えを比較しながら話す活動や、意見を求められたときに自分の考えをまとめて話す活動を積極的に授業に取り入れていくことを心がけていきます。ご家庭でも、たくさん会話をしたり、本を読んだりする機会を増やしていただけるようお願いします。

【算数】



算数は、全国の平均正答率を下回る結果となりました。「変化と関係」の領域において全国の平均正答率を上回る結果となりました。「**伴って変わる二つの数量の関係が、比例の関係ではないことを説明する**」問題は、示された表から比例ではない根拠を見つけ、適切な数を選ぶことができていました。

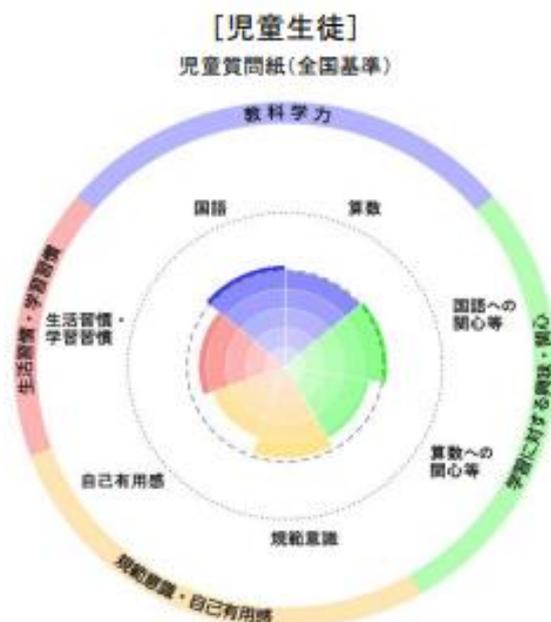
一方で、「**示された場面において、目的に合った数の処理の仕方を考察すること**」の設問に課題が見られました。また解答用紙からは、式や言葉を使って説明する問題において、式は書けているけれど言葉での説明が書けていない解答、情報量が多くなると一部分だけの情報で判断してしまい、答えが条件と合わなくなってしまう解答が見られました。算数に限らず、「読み取る」ということにじっくりと時間をかけて取り組んだり、児童の誤答を生かし、全体で考える機会を設けたりする場面を日々の授業で意図的に取り入れていきます。また、習熟度別・少人数指導、学習規律やノート指導、学習習慣の確立を目指す宿題など、本校がこれまで行っている学力向上の取組にも引き続き取り組んでいきます。

【質問紙調査】

全国学力・学習状況調査では、国語、算数の学習調査のほかに、学習に対する興味・関心や、学習・生活習慣、規範意識などについてアンケート形式で答える「質問紙調査」が実施されています。

右のグラフの見方ですが、色のついている部分が、本校児童の質問紙の結果です。色の部分とおおむね重なっている、円を描いている点線が全国平均値です。

学力（青い部分）で見ると、国語と算数は全国平均値とほぼ同じです。また、緑部分で示されている学習への興味・関心の度合いは、国語に対して算数への興味・関心が全国平均値と比較して低いことが分かります。黄色で示されている「自己有用感」、赤で示された「生活・学習習慣」の項目は、全国平均を下回る結果となりました。その中からいくつか紹介します。



学習習慣・生活習慣

- ▼朝食を毎日食べている。
- △家で自分で計画を立てて勉強している。
- ▼毎日同じくらいの時刻に起きたり寝たりしている。

「している」「あてはまる」と回答した割合の全国との比較

- ▲大きく上回っている（5%以上）
- △上回っている（5%未満）
- ▽下回っている（5%未満）
- ▼大きく下回っている（5%以上）

規範意識・自己有用感

- ▼自分には、よいところがあると思う。
- △先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思う。
- ▼困りごとや不安があるときに、先生や学校にいる大人にいつでも相談できる。
- ▼いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う。
- △人の役に立つ人間になりたいと思う。
- ▼将来の夢や目標をもっている。

学習に対する興味・関心

- ▽国語・算数の勉強は大切だと思う。
- △国語の授業内容はよくわかる。
- ▼算数の授業内容はよくわかる。
- △国語・算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う。
- ▽国語の勉強は好きだ。
- ▼算数の勉強は好きだ。

地域や社会に関わる活動

- ▲地域や社会をよくするために何かしてみたいと思うか
- ▼今住んでいる地域の行事に参加している
- ▼日本やあなたが住んでいる地域のことについて、外国の人にもっと知ってもらいたいと思う

以上、学力調査、質問紙調査についての結果をお示ししました。そこで、本校は次のように取り組みます。

学力向上に向けた取組

学校では・・・

- ☆「わかる楽しさ、できる楽しさ」を実感させ、**基礎・基本の確実な定着**を目指します。
- ☆学力の定着度や各種テストの**結果の分析と課題の共有化**を図り、**授業改善に役立てて**いきます。
- ☆**習熟度別・少人数指導の充実**を図ります。
- ☆**ICT 機器を効果的に活用**し、子供たちの主体的な学びにつなげていきます。
- ☆朝学習では全教員が全学級に入室し、**児童の実態に応じた補充学習**を行います。
- ☆**全校統一の「学習の約束」を設定**し、落ち着いた学習環境を作ります。
- ☆**宿題の提示や、家庭学習への取組の充実**を図ります。
- ☆**「学力UP 便り」を発行**し、家庭との情報の「交信」を意識した取組を推進します。

ご家庭では・・・

☆生活習慣の見直し

- ・朝食をとり、就寝時刻、起床時刻を決めて、毎日継続しましょう。

☆学習時間の確保

- ・目標は「学年×10分+10分」です。時間帯を決めて毎日継続しましょう。家庭での学習時間が長いほど、平均正答率が高い傾向が見られます。
- ・子供が自ら学習計画を立てて実行することが大切です。子供が家庭学習の計画を立てて取り組む姿を見守り、応援して、子どもの自主性を育てましょう。

☆メディア利用のルール作り

- ・スマートフォンやゲームをする時間の約束を家族と一緒に決め、一日の時間を大切にすることを育てましょう。

☆心が触れ合う時間の確保

- ・がんばってできたこと、挑戦しようとしたことを認めて、ほめ、子どものやる気を育てましょう。

(参考資料) 北海道教育委員会「北海道の子どもたちの健やかな成長を願って」

本校では、子供たちの成長を願い、今後も職員が一丸となって指導を進めていきます。しかし、子供たちが健やかに育っていくためには、ご家庭の協力が欠かせません。今後とも本校の教育活動へのご理解・ご協力をお願いいたします。

*帯広市の結果も、帯広市教育委員会から公表されています。関心をおもちの方は、市のホームページなどでご覧いただけますので、ご参照ください。